

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

令和元年度 第5回常務理事会 議事録

開催日時：令和2年1月17日（金）午後6：30から

開催場所：技師会事務所

出席者：浅野、長谷部、渡邊、佐藤、澤野、柴、川合、後藤

欠席者：森（さ）、高崎

議長：浅野敦会長

議事録：後藤庶務部長

#### 【各種連絡事項】

議長：浅野敦会長により進行された。

#### 【庶務部より】

##### 1. 日本臨床衛生検査技師会より連絡

###### (1) 会費の送金について

- ・令和元年11月締め分、会費集金処理ができ12月27日付で銀行口座に振り込まれた。

送金内訳

令和元年度会費 10,000円×1名=10,000円

令和元年度入会金 500円×1名=500円

送金合計額 10,500円 の会費送金があった。

入金者リストは、都道府県技師会専用会費管理システムで確認できる。また口座振替後、退会の届出があった方については各都道府県で返金処理を行う。（後藤庶務部長）

###### (2) 令和元年度「生涯教育推進研修会助成金」の送金について

- ・12月27日付で銀行口座に振込送金された。送金額は¥50,000円。

助成金内訳

2019/11/23 秋季拡大研修会 ¥50,000円

（後藤庶務部長）

###### (3) 令和2年度 ベッドサイド研修会の中止について

- ・令和2年度については一旦中止。新たに名称のみならず、内容も再考していく。理由としては、現在、厚労省において「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推

進に関する検討会」が開催され、当会としても臨床検査技師に対して移管可能とする業務を要望しているため。（浅野会長）

(4) 「会員施設実態調査」並びに「会員意識調査」実施への協力について

- ・恒例の調査。「会員施設実態調査」に関しては技師長、「会員意識調査」に関しては会員全員。一斉メールで送信した。日臨技からも1/25頃には会員に一斉メールが送信される。協力をお願いします。（浅野会長）

(5) 令和2・3年度理事候補者の推薦について

- ・今年度の日臨技の総会において、定款の改定があり各県から一人ずつ理事を選出するとなったため推薦の依頼があった。理事候補者の条件としては、

①都道府県技師会の役職（会長、副会長など）であることが望ましい。

→「会長、副会長など」のため常務理事でも良いと思う。

②日臨技生涯教育研修履修制度の履修修了者（直近5年以内）であることが望ましい。

③女性理事を積極的に推薦されることが望ましい。

④推薦理事は、2期以上継続できることが望ましい。

理事会で諮るまでもないが、常務理事で立候補はないですか？

岐臨技も役員の変更があり、森副会長は次期の理事には出られず、長谷部副会長も交代される。

立候補なし

浅野会長が日臨技理事候補となり、全員一致で承認された。

2. 第69回日本医学検査学会 運営事務局より

(1) 第69回日本医学検査学会一般演題座長候補推薦について

- ・学術部長から候補者のリストを頂いた。（後藤庶務部長）
- ・輸血：森本さん（松波総合病院）、生理：今吉さん（大垣市民病院）、血液：渡邊さん（岐北厚生病院）、微生物：後藤さん（岐阜県総合医療センター）とほぼ学術部長、部門長が担っていただける。（会長から）学会事務局に報告する。座長の方はよろしく願います。（浅野会長）

3. 岐阜県医師会より

(1) 岐阜県医療推進協議会における「決議」の送付について

- ・常務理事の方には「国民医療を守るための岐阜県集会」に参加してもらった。当日採択され「決議」が送付された。実際、何を行うのか中身が未だみえてこないが、医療関係の団体の長は理事等に入っている。（浅野会長）

#### 4. 岐阜県健康福祉部より

(1) 「医師、歯科医師、保健師、助産師及び看護師等の免許の申請について」の一部改正について

・改正の概要として

- ・医師、歯科医師について、成年被後見人確認資料を削除
- ・医師、歯科医師が精神の機能障害を有する状態となり業務の継続が著しく困難になった場合の届出を取扱要領に追記
- ・抹消申請の際、死亡診断書及び死体検案書の写しに求めている原本証明の取扱いを削除通知についてはもう一度内容を確認し、必要に応じて一斉メールで配信する。

(浅野会長)

#### 5. 4月9日「子宮頸がんを予防する日」集中キャンペーン寄付について

- ・毎年寄付のお願いがきている。昨年・一昨年は寄付をしていない。細胞検査士会も協力している。金額は3万円。寄付についていかがですか？(浅野会長)

賛同がなく寄付は見送りとなった。

#### 【岐阜地区より】

1. 1/31(金)に岐阜地区総会を開催予定です。(後藤庶務部長)
2. 令和2年度の行事として、11月8日(日)に第41回ぎふ市民健康まつりを開催予定です。会場は未定です。(後藤庶務部長)

#### 【西濃地区より】。

1. 1/31(金)に西濃地区総会を開催予定です。(浅野会長)
2. 3/15(日)に県学会が開催を予定していて、準備を進めている。1月の定期便にて、詳細な案内を発送する。演題がなかなか集まっていない状況。正式に事務局に申し込みがあった件数は僅か。しかし、口頭での募集を含めると12題はあるので、最低限の演題数は満たした。当日の参加もよろしくお願ひします。(浅野会長)

#### 【飛騨地区より】

1. 2/8(土)に飛騨地区総会を開催予定です。場所は久美愛病院。(長谷部副会長)

#### 【中濃地区より】

1. 2/28(金)に中濃地区総会を開催予定です。場所は岐阜医療科学大学。検査技師の国家試験が2/19(水)のため国家試験以降の日にちとなった。(川合会計部長)

#### 【東濃地区より】

1. 3/6(金)に東濃地区総会を開催予定です。場所は県立多治見病院。(柴渉外部長)

※各地区の役員候補者が出揃ったら、役員推薦委員が地区の選挙管理委員に報告し、各地区の選挙管理委員が選挙管理委員長に候補者を報告する。（浅野会長）

- ・立候補の届は必要か？（川合会計部長）
- ・選挙管理委員長に報告だけで良い。自薦もあるので、自薦の方は届出用紙の提出をお願いします。各地区総会で次期役員が出揃ったら、5月の理事会で報告をお願いします。同時に役員推薦委員と選挙管理委員の候補選出もお願いします。現在の部長で変更がある部長は広報宣伝部長、精度管理部長。学術部長、渉外部長は検討中。（浅野会長）

#### 【学術部より】

##### 1. 部門長・副部門長 変更について

###### (1) 病理・細胞部門：変更内容

部門長：大鹿さん（東海細胞研究所）

副部門長・精度管理：吉村さん（中津川市民病院）

部門員：日高さん（東海中央病院）

###### (2) 臨床検査総合部門：変更内容

部門員：武藤さん（岐阜赤十字病院）

以上渡邊学術部長

#### 【精度管理事業部より】

##### 1. 精度管理事業・データ標準化事業システム JAMTQC 使用について

- ・精度管理調査は日臨技の JAMTQC というシステムを使用しているため、使用申請をお願いします。システムの設定に関して、プログラマー（H&T社）へ依頼はしないため、メンテナンス費用はかからず無料となる。事業管理者は精度管理事業部長が行っているが、次期部長が決定していない。武藤さん（東濃厚生病院）に打診はしている。申請してからメンテナンス許可が下りるまで1ヵ月ほどかかるため、早く部長を決め申請しなくてはいけない。（佐藤精度管理部長）

##### 2. 精度管理事業部報告会について

- ・令和2年2月2日（日）に東海中央病院にて精度管理事業部報告会が行われる。閉会の挨拶は森副会長にお願いした。報告会の名称は報告会セミナーという名称に決定した。「ALP、LDの国際的標準化の動向」については、4月から1年間猶予期間が設けられている。4月1日から変更する施設がどのくらいあるかは定かではないし、試薬も全メーカーが開発しているわけではない。これらの内容について報告会セミナーでは話をしてもらう。（佐藤精度管理部長）

令和元年度 岐阜県臨床検査技師会  
精度管理事業部報告会スケジュール

令和2年2月2日(日) 東海中央病院 3階大会議室

12:30	受付開始	
13:00	開会のあいさつ	岐臨技会長 浅野 敦
13:05	精度管理総括	佐藤 恵彦
13:15	臨床化学検査Ⅰ	渡邊 景介
13:30	臨床化学検査Ⅱ	林圭織
13:40	免疫血清検査	武藤 延秋
13:50	血液検査	乾 ゆう
14:00	一般検査	山口 明彦
14:10	休憩	
14:20	病理検査	片桐 恭雄
14:30	細胞検査	吉村 昌昭
14:40	生理検査	渡邊 恒夫
14:50	微生物検査	長島 敏之
15:00	輸血検査	樋口 布抄子
15:10	報告会セミナー「ALP、LDの国際的標準化の動向」	富士フィルム和光 学術部
16:10	閉会の挨拶	岐臨技森副会長
16:15	終了	

- ・精度管理報告会の参加をよろしくお願ひします。ALP、LDについては、猶予期間が1年という事ですが、この期間中に変更しないといけないのか？(浅野会長)
- ・臨床化学会が推奨している。LDの値は、あまり変化はないが、ALPの値が大きく(約1/3)変わる。変更後は(現行測定法のJSCCと新測定法のIFCCの)併記が必要と思う。ALP、LDの測定方法では、世界的に普及している測定方法がIFCC(国際臨床化学連合法)のため、現行測定法のJSCC(日本臨床化学会)法から変更となる。また、JSCC法では、日本の治験データが海外で通用しない事や血液型(一部で頻発する傾向にあった疾患と関連しない上昇)などの問題の解消の理由がある。JSCC法とIFCC法との換算式はできている。(佐藤精度管理部長)
- ・AST、ALTも同じ動きがある？(浅野会長)
- ・IFCCが元のためそのような動きが今後あるかもしれない。(佐藤精度管理部長)
- ・このような話が報告会セミナーであるので参加をお願いします。(浅野会長)

#### 【組織調査部】

##### 1. 全国「検査と健康展」について

- ・12月1日(日)10時~15時に、わかくさ・プラザで行われる。各部門企画、必要物品一覧を作成した。生物化学分析部門の企画「デンタルヘルスケア/口腔内環境を知る」にア

ークレイスタッフが1人参加。また、臨床一般部門でもアークレイスタッフが1人参加してもらえるため、メーカーから2名の参加となった。参加者名簿も作成した。医師コーナーでは、岐阜大学病院の伊藤弘康先生、岐阜市民病院の内木隆文先生が参加して頂けることとなった。「検査と健康展」当日のスケジュール及びお願いも作成し、当日参加するスタッフにメールで配信した。(澤野組織調査部長)

- ・スタッフの人数は足りているか？(浅野会長)
- ・実務委員はあと1~2人お願いしている。(澤野組織調査部長)
- ・例年に比べるとどうか？(浅野会長)
- ・生理部門が少なくなった。(澤野組織調査部長)

## 2. HIV 予防啓発活動について

①11/16(土)に西濃地区担当で、岐阜協立大学のHIV 予防啓発活動が行われる。

②11/17(日)には、ハートフルスクエアGで無料HIV 検査会が行われる。

それぞれ参加をする。(澤野組織調査部長)

## 【広報宣伝部】

1. 次の会報の発行に向けて準備をしている。今月の定期便で配布する予定。(浅野会長)

## 【渉外部】

### 1. 人材育成部より

① 令和元年度 都道府県技師会リーダー育成研修会 予算書(修正)再提出について

- ・令和2年2月9日、開催予定の都道府県リーダー育成研修会の参加費について、当初2,000円として企画書の承認を得ていたが、今年度は昨年度の講師料20万円から、1万円と大きく減額となったため、参加費を岐臨技の拡大研修会と同額の1,000円に変更したいと思う。参加費1,000円として新たに予算書を再提出します。ご承認をお願い致します。

(柴渉外部長)

- ・収入の部：研修会等参加費：30名分：¥30,000(参加者×1,000円)

合計¥30,000

- ・支出の部：印刷製本費

印刷費：製本費資料集：¥0(岐臨技事務所にてカラー印刷)

支払負担金

会場費：岐阜清流病院 会議室：¥0

食卓費：お弁当代・お茶：¥42,000

謝礼金

講師等謝礼(概算)：外部講師2名：¥10,000

(丸田常務理事(0円)日臨技負担)古野氏1万円)

講師等旅費交通費(概算)：外部講師2名：¥1,000

(丸田常務理事 (0円日臨技負担) 古野氏1,000円)

#### 会議費

日当：準備委員会、当日運営 (計3回) : ¥17,000 (4名+4名+9名)

旅費交通費：準備委員会、当日運営：計3回¥22,000

#### 学会運営費

雑費：グループワーク使用文具：¥5,000

食卓費：講師お茶菓子：¥1,000

支出の部合計：¥98,000

収支：¥-68,000

※助成金は枠がないため申請できない。(柴渉外部長)

- ・本来は次回の理事会で承認を得ないといけないが、研修会が終了した後となるため、常務理事会で了承を得たいと思う。

以上浅野会長

全員一致で承認された

- ・現在参加者が20名 (男性は1名) で、空きがあります。参加協力をお願いします。(柴渉外部長)
- ・声掛けをしてください。参加協力をお願いします。(浅野会長)

#### 【会計部より】

##### 1. 会計報告について

###### ①11月別決算と11月までの合計について

・12月に10月と11月の会計の突合せを行い、会計は適切に処理をされていた。11月までの月別決算表：11月の経常収益計は¥488,002円、経常費用計は¥1,270,113円、経常増減額は-782,111円と赤字であった。秋は岐臨技のイベントの大半があったため、支出が増え赤字も増えた。11月までの合計：11月までの経常収益計は14,211,713円、経常費用計は10,399,178円、経常増減額は3,812,535円の黒字であった。11月までの経常費用計予算は14,183,700円、(経常費用計は10,399,178円) 差額は3,784,522円となっている。残り4ヵ月でこの予算(3,784,522円)で運営していかなければならない。前年度の差額は4,173,420円で前年度は赤字になっていない。中部圏学会で100万円助成していて、予算に組んでいない金額が50万円ほどあり、この50万円が戻れば420万円ほどの残金になるので今年度も黒字で終了できると予測している。(川合会計部長)

- ・経常費用計でみると前年度より100万円ほど多く支出している。その内訳として中部圏支部の分があり、予算としては45万円立てているため、55万円は戻ってくる。今年度の予算は元々若干高いため、380万円に50万円を足せば前年度よりは多いと思われる。よほどの事がなければ大きな赤字にはならないと思う。今回、中部圏支部学会があったという中でも、通常の予算比べて中部圏支部学会の枠を取っていた。最悪40~50万円の赤字であれば短期の決算としては、まあ良いと思う。(浅野会長)

- ・中部圏学会の赤字の補填はどうなっていますか？（川合会計部長）
- ・これから日臨技で審議に入るところ。一度、赤字補填書を支部長から提出し執行理事会で諮ってもらったが、補填書の差し戻しになった。再度、赤字補填書を作成し直し、支部長経由で送ってもらい、今月末に行われる理事会で諮られる。承認が得られれば、2月早々に送金される。（浅野会長）
- ・どのくらい補填されるのか？（佐藤精度管理部長）
- ・承認はされてはいないが、全額補填の方向で進めている。（浅野会長）

## 2. 令和元年度中間決算について

1. 収支計算書について：予算額と中間決算額の比較です。ただし、中間決算額は4月1日から9月30日の6か月の実績ですが、予算額は1年度分です。したがって、中間決算額が予算額の半分程度であれば予算通りともいえますが、多くの科目は収益・費用が上期もしくは下期に偏っています。また、(1) 経常収益の①入会金・会費収入の「正会員会費収入」の中間決算額は、実際に入金のあった額の半分を計上し、残りの半分は前受金として下期の収益としています。予算との差額が大きい科目は「支払助成金」の「地区活動費」です。中部圏支部医学検査学会事務局に事前活動費が不足していたため、予算額450,000円のところ1,000,000円を支出しました。学会終了後精算される予定です。

2. 正味財産増減計算書について：当年度と前年度の中間決算額の比較です。

前年度と差額の大きい科目（前年度±100,000円以上）

### (1) 経常収益

①事業収益の「正会員会費収入」の増加は正会員の増加（13名）によるものです。

②事業収益の「精度管理参加費」の減少分は下期に入金の予定です。

### (2) 経常費用

「旅費交通費」の減少は、岐阜県医学検査学会・春季拡大研修会の打合せ会議、病理細胞部門・臨床生理部門の研修会、精度管理部の会議・作業、人材育成部会の研修会（リーダー育成講習会など）・会議などで減少したこと、選挙管理の会議・作業が行われなかったことによるものです。

「食卓費」の減少は、西濃地区・飛騨地区の健康イベント、新人サポート研修会、精度管理の会議・作業、人材育成部会の研修会（リーダー育成講習会など）・会議で減少したことによるものです。

「地区活動費」の発生は中部圏支部医学検査学会事務局に事前活動費を支出したことによるものです。

## 3. 貸借対照表・財産目録について

I 資産の部で、昨年度「未収金」とした精度管理参加費の未納分は、精度管理調査が上期に限った事業ではないため、今年度から上期の未収金とはしないことにしました。

II 負債の部の「前受金」は、正会員会費の半分を下期分としたものと、下期開催の検査と



健康展の助成金が上期中に入金があったものです。

Ⅲ負債の部の「預り金」は上期の給与所得税のうち上期中に納税していないものです。

以上 川合会計部長

- ・今年度の予算額が 14,183,700 円、中間決算額は 7,667,180 円、差額が 6,516,520 円となっている。中部圏支部学会の赤字補填が承認されれば、50 万円返金されるので実際は 710 万円ほどの残金となり、予算額の約半分の金額となり執行としては適正と思われる。次回の理事会でも報告をお願いします。（浅野会長）

## 【その他】

### 1. 来年度定時総会の議案について

- ・第一号議案については、通常の事業報告や決算となるが、第二号議案として、岐臨技定款（法人の構成員）第 6 条（1）正会員の条件変更の承認を得たい。

現在

正会員 臨床検査技師会または衛生検査技師の資格を有し、この法人の目的に賛同して入会した個人

変更後

正会員 臨床検査技師会または衛生検査技師の資格を有し、かつ日本臨床衛生検査技師会の会員であり、この法人の目的に賛同して入会した個人

- ・第三号議案として、岐臨技定款（法人の構成員）第 6 条（2）名誉会員 新名誉会員の承認を得たい。名誉会員の対象者（兼子さん他）がみえる。組織調査部で対象者をリストアップをお願いします。庶務部でも定時総会の議案書の作成をお願いします。4 月の常務理事会で議案集の確認をし、5 月の理事会で承認を取りたい。3 月末までに議案書の作成をお願いします。各部長は 3 月末までに事業報告を庶務部長に送ってください。決算に関しても、4 月の常務理事会で提示していきたいので、常務理事会を 4/10 から 4/17 に変更する。

以上 浅野会長

### 2. 事業計画について

- ・各部長より事業計画について説明があった。

事業計画の文章について、

- ・年号は令和・平成に統一
- ・文章の最後の「。」を省く
- ・タイトルの最後には（案）を付ける。（理事会終了後には（案）を外す）
- ・フォントや文字の大きさは精度管理事業部に合わせる  
（MS 明朝、フォント表題は 16、文章のタイトルは 12、文章は 10.5）
- ・英文字や数字は半角で統一

で修正することとなった。

以上 後藤庶務部長

### 3. 予算案について

- ・会計部と会計士の確認は済んでいる。
- ・収入の元となる点について：予算は910万円とした。今年度の予算から60万円増加とみている。理由は、今年度の予算案の見込が甘かった（昨年度の決算時の会員数が862人であったが、予算では850人にしてしまったので、その時点で予算が少なくなっていた。）ため。今現在の会員数は888人。毎年約20人の増加のため、60万円増加の910万円とした。賛助会員について：今年度は30社で90万円であった。昨年度の決算では32社で96万円であったため、昨年度の決算時の額に合わせ96万円とした。この収入を元にし金額を編成した。

- ・前年度と差額の大きい科目（枠外の右の「差額」±100,000円以上の説明）

#### （1）経常収益

「正会員会費」は、前年度実績より増額しました。

「学会研修会助成金」の減少は、学術4部門とベットサイド実践講習会中止による減額分です。

#### （2）経常費用

「消耗什器備品費」は、前年度事業である岐臨技事務所パソコン更新作業の終了に伴い、計上していた予算がなくなり、減額となりました。

「修繕費」は、岐臨技事務所トイレ修繕費用を計上し、増額となりました。

「講師等謝礼」の減少は、学術5部門とベットサイド実践講習会中止による減額分です。

「支払報酬」は前年度、会計士報酬の見直し（入札による改定）を行い、増額となりました。

「地区活動費」は、前年度事業である中部圏支部学会終了に伴い、助成金として計上していた予算がなくなり、減額となりました。

#### （3）管理費

前年度と差額の大きい科目はありません。

- ・前年度との差額の大きい事業（収支予算の下の「差額」±100,000円以上の説明）

「臨床生理部門事業」は、「日当」、「旅費交通費」、「講師等謝礼金」を減額しました。

「中部圏支部学会事業」は、前年度に事業を終了。助成金である「地区活動費」の予算がなくなり、減額となりました。

「ベットサイド実践講習会事業」は、日臨技の意向により当年度は開催中止となったため、予算計上を見送り、「経常収益」、「経常費用」とともに減額となりました。

「その他会計」の「共通事業」の説明。（1）経常収益の科目「正会員会費」、「賛助会員会費」、「受取補助金等」は、前年度・前々年度実績により増額しました。（2）

経常費用の科目「日当」、「旅費交通費」、「食卓費」、「配送費」、「消耗品費」、「印刷費」、「租税公課」、「支払負担金」、は、前年度・前々年度実績により増額しました。

- ・令和2年度一般社団法人岐阜県臨床検査技師会収支予算摘要（別表）

収支予算表と同じ場所に、算出根拠を記載しました。

以上川合会計部長より説明があり検討された。

検討内容は次回の理事会までに修正報告する。

議長 浅野 敦 

議事録署名人 長谷部 正仁 

議事録署名人 森 さゆり 

